

巡礼者の垂訓

(The Beatitudes of the Pilgrim)

1. 巡礼者は幸いである。巡礼が見えないものにあなたの目を開くならば。
2. 巡礼者は幸いである。あなたが最も気にしていることが、ただたどり着くことではなく、他の人と一緒に目的地に到着することであるならば。
3. 巡礼者は幸いである。巡礼を観想し、それが名前と何か新しいものの始まりで満たされていることを見出すならば。
4. 巡礼者は幸いである。あなたのリュックが空っぽになり、心が静けさと生命で満たされるならば。
5. 巡礼者は幸いである。一步戻って誰かを助けることの方が、わき目をふらずにただ前進することよりも、はるかに価値あることだということを見出すならば。
6. 巡礼者は幸いである。全ての予想外の驚きに対して深い感謝の気持ちを表現する言葉を持たないとき。
7. 巡礼者は幸いである。ただあなたが巡礼をするのではなく、巡礼にあなたを変えさせるならば。
8. 巡礼者は幸いである。道々、真の自分に出会い、立ち止まり、見つめ、聴き、自分の心を大切にすることを知るならば。
9. 巡礼者は幸いである。真理を求めて、巡礼を、道であり、真理であり、生命である方を求める、「生命への道」にするならば。
10. 巡礼者は幸いである。あなたは巡礼が終わった時に本当の巡礼が始まることを知るのだから。